

# 「脇本小学校の脇本学（総合的な学習の時間）の取組」

## 1 学校名

阿久根市立脇本小学校

## 2 学年・人数

6年・34人      5年・25人      3年・39人

## 3 日時・場所

### (1) 学習会等の日時・場所

令和4年1学期

総合的な学習の時間に、松木弘安（寺島宗則）について学習する。「創立百周年記念誌脇小百年」の資料やインターネット等の情報をもとに調べたことをパンフレットにまとめて相互に発表する。寺島宗則記念館に作成したパンフレットを持参し、館内に掲示するとともに見学者に配布してもらう。

令和4年6月20日（月）

総合的な学習の時間や社会の授業で寺島宗則記念館を見学。下豊留佳奈先生（第一工科大学非常勤講師）と寺島会の皆様から説明をいただく。

### (2) 発表の日時・場所

- ・ 授業で児童相互に発表し紹介し合う。
- ・ 学習したことをパンフレットにまとめ、寺島宗則記念館に掲示・配布をする。

## 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

### (1) 名称・時代

まつきこうあん てらしまむねのり  
松木弘安（寺島宗則）旧家（築180年）・江戸後期

### (2) 特徴

幕末、英国に密航した薩摩スチューデント一行19人のうちの一人。留学生ではなく一行を引率するリーダーとしての参加であった。松木弘安（のちの寺島宗則）は、幼少時から長崎で西洋文化を学び、島津斉彬の右腕として幕末から明治に初めに大活躍した人物である。日本の近代化に尽くした電信の父と呼ばれ、日本の地位を向上させた外交リーダーとして活躍した。

薩摩スチューデント一行19人のうち実際に過ごした旧家が現存しているのは、松木弘安だけである。平成31年度、築180年を超え老朽化した旧家は修復工事が行われ、令和2年4月から開館している。

## 5 保存会や地域との連携の具体

7月中旬に、寺島会の方が、小中学生を対象にした研究会を開催した。本校6年生も8人参加し、1学期に学習し調べた内容を、さらに深めまとめる活動に取り組み、夏休みの自由研究とした。

今後は寺島宗則に関する学習をさらに深化させるとともに、中馬大蔵ら郷土の偉人を学習対象として掘り起こし、学習時間と学習内容を深める工夫をする。

## 6 活用の取組の工夫した点

- (1) 平成30年度から、総合的な学習の時間の活動計画に、「ふるさとに学ぼう！ 脇本学」（全14時間）を計画し、活動時間を確保した。
- (2) 夏季休業中の職員研修時のフィールドワークで寺島宗則記念館を見学し教材研究につながる活動を仕組み、工夫をした。
- (2) 6年生の校外学習で東川隆太郎氏による校区内のまち歩き探訪を行い、寺島宗則記念館をはじめ、地域の史跡について見学・説明を受けた。

## 7 取組の様子（記念館見学，史跡探訪のようす）



## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### (1) 児童

- ・ 寺島宗則記念館で学んだことは、寺島宗則は、小さいときから、たくさんのお勉強を学び、大人になっても、人のために色々なことに取り組んでいたことです。私は、いつか寺島宗則のように、人の役に立てる大人になりたいです。
- ・ 寺島宗則記念館を見学しました。2本目のビデオでは、解説の人が、「宗則は、このような故郷の景色を誇りに思っていたのかもしれない。」と言っていました。私もそうだろうなと思いました。なぜなら、私自身もすごくきれいな景色だと思うし、「とてもいい場所だな。」と何度も思ったことがあるからです。また、下豊留先生が、クイズやカルタを出しながら寺島宗則のことを分かりやすく教えてくださいましたので、心に残ったことをメモ用紙にくわしく書けました。私は、夏休みにまた寺島宗則記念館に行き、宗則の生き方や考え方を勉強しようと思います。

### (2) 教職員

地域の歴史施設である寺島宗則記念館を見学しました。180年を超え老朽化が進んでいた旧家は平成31年度修復工事が行われ、当時の様子がうかがえる記念館に生まれ変わり、建物周辺の整備も進んでいました。寺島会の方に説明をしていただき、紙芝居やDVDの視聴をしました。児童と見学に行くなど、社会科や総合的な学習の時間で活用を図りたいと思います。

